

## OH27 法奥小学校3年生が「ブナの森たんけん学習」を行いました

9月1日火曜日に十和田市立法奥小学校3年生9名が、十和田市奥瀬幌内山国有林 80 林班ろ小班内ブナの巨木「森の神」で、「ブナの森たんけん学習」(森林環境学習)を行いました。

法奥小学校は、みどり学習の取組の一環として、森林の重要性や多面的な役割について、毎年、当森林管理署森林官と連携した取り組みを行っています。

当日は、保護柵に囲まれた幹回り6m、樹高30.2m、推定樹齢約400年のブナの巨木「森の神」の前で、「太さは、手をつなぐと何人分？」の質問にメジャーを使い児童が円を作り太さを実感、高さは、近くの木に約10mとなる棒(測竿)をあてての高さを見比べ巨木周辺には何があるか散策しました。

周辺の散策では、トチの実やキノコを見つけ、クリとは違うことが解りがっかりする場面も。

森林官からは、ブナのサンプル材の年齢から、周辺のブナの木の中から自分たちと同じ年齢位のブナ探しや森林の役割には、土砂を抑え、水を蓄え、動物たちの住処となることを聞き、森林と触れあう中から大切さを少しでも理解して貰えたと思います。



太さを確認



これは何の実



この木は何歳？



高さ比べ